



イグニス<3689>、米国ベインキャピタルと組みMBOで株式を非公開化



イグニスは5日、MBO（経営陣による買収）で株式を非公開化すると発表した。米大手投資ファンドのベインキャピタルと組んでTOB（株式公開買い付け）を実施する。買付代金はおよそ263億円。イグニスが主力とするスマートフォン向けアプリ開発・運営を巡る競争環境は目まぐるしく変化する市場特性がある。非公開化で機動的・柔軟な意思決定を可能にする。TOBが成立すれば、東証マザーズへの上場が廃止となる見通し。同社はMBO目的のTOBに賛同している。

TOBの実施主体であるi3（東京都千代田区）はイグニスの銭鋸社長、鈴木貴明取締役CTO（最高技術責任者）が各25%、ベインキャピタル傘下企業が50%を出資して設立した。

イグニス株の買付価格は1株につき3000円で、TOB公表前日の終値1787円に67.88%のプレミアムを加えた。TOBを通じて所有割合約53%にあたる876万1149株の取得を目指す。残る株式はイグニスの銭、鈴木両氏らが現在保有する。買付予定数の上限、下限は設けていない。買付期間は3月8日～4月19日。公開買付代理人は野村証券。決済の開始日は4月26日。

イグニスは2010年にスマホのネイティブアプリの企画・開発、運営を目的に設立し、14年にマザーズに上場した。